

ながかつみちちゃん通信

2019年度
4・5月 第7号

時代が「令和」になっては2か月。皆さん時代の移り変わりはどのように過ごされましたか？今年も半分が過ぎました。さあ、夏に向かって一直線！

2019年度総会開催！

5月19日(日)に2019年度の総会を当法人オフィスで行いました。第1部は話題提供として、当法人の國井秀伸副理事長に「回復しつつある日本各地の水草・宍道湖と堀川を例にして」を発表いただきました。第2部は、2018年度(平成30年度)事業報告、会計報告、監査報告、2019年度(令和元年度)の計画、予算計画が承認されました。

【理事長よりご挨拶】

本年度は改めて、湖と人々の親しい関係をもう一度立ち返って考えて、中海や宍道湖圏域が豊かな恵みを感じられる持続可能な社会になるように努力したいと思えます。調査研究では、引き続き、中海の浚渫窪地の埋め戻し等の環境修復事業のモニタリングを行っており、今年度は特にシンポジウム等の情報共有を住民や行政等と積極的に進めます。また、「一財」セブリング記念財団より助成を受けて行った、「オゴノリング大作戦」事業では、大根島をフィールドに、様々な活動を行う中で次世代の育成を図ります。その他にも、中海湖岸域でのサイクリングロード拠点づくり、学校等との連携による環境教育の場づくり等を考えています。さらに、情報公開や住民との共有の場をつくるため、ながかつみちゃん通信発行、食の会の開催、まちあいテラス(MiIT)の開催を計画しています。ホームページやフェイスブック等でお知らせしておりますので、是非会員の皆様をはじめとする方々にご参加いただければと思います。本年度もどうぞよろしくお願いたします。



◀Hiビーズ(直径2~3cm)石炭灰をセメント等で固めたもの。



▲過去の見学会の様子

中海の窪地修復事業が始まりました

自然再生センターでは、平成24年3月に立てられた中海自然再生事業実施計画以来、「浚渫窪地の環境修復事業」の実施者として、石炭灰造粒物(火力発電で出た石炭の灰をセメントで固めたもの)による浚渫窪地の覆砂や埋め戻しの実証実験を行い、その効果を検証しており、今年度も5月より開始いたしました。

中海の湖底、特に弓ヶ浜半島沿いの湖底には、埋立地をつくるために湖底の土砂を掘り取った「浚渫窪地」と呼ばれる場所が広がっています。窪地は周囲に比べて深いため、枯死した植物プランクトンなどの有機物が溜まりやすく、分解時に水中の酸素が消費されることから、窪地内は酸素の少ない貧酸素あるいは無酸素の状態となっています。このような状態になると、湖底泥からリンや窒素などの栄養塩が溶出して赤潮の原因となるほか、毒性の高い硫化水素が発生したりします。硫化水素を含む窪地内の貧酸素の水が強風などによって水深の浅い沿岸部に這い上がると、いわゆる青潮となって魚介類に甚大な影響を与えます。中海の再生には、底層の貧酸素化の改善と予防対策が重要なことから、栄養塩や硫化水素の溶出速度の大きい窪地の影響はできるだけ排除することが望まれます。

この事業について詳しく知りたい方は中海自然再生協議会のホームページに掲載されている1期と2期の実施計画をご覧ください。
(https://www.nkcaumi-saisei.org/)。(副理事長・國井)

「平成最後」の食の会開催！

2009年(平成21年)から本格的にスタートした「中海宍道湖の食を広めよう会」。開始から10年が経ち、「平成」という時代も終わりを迎えました。

今回は、開始当初よりご参加いただき、毎回受付をお手伝いいただいている正会員の吉田さんに記事を書いていただきました。吉田さん、ありがとうございます。

10年位前の初夏、「矢田の渡し」で國井先生指導の生物観察会に参加して、小さなエビを発見し喜びと同時に、川底の「ドロの深さに驚きました」。

その時に「宍道湖・中海淡水化事業反対運動」を思い出し、自然に人間が手を加えたら、人間が元に戻さないといけないと思ひ、自然再生センターの会員になりました。

「中海・宍道湖の食を広めよう会」が始まった頃は、中海のお魚料理1〜2品とおつまみ(冷奴や枝豆など)で、会員が顔を合わせてセンターの活動の話をしていました。

活動で知り合った地元の漁師さんのお話を聞いたり、市販されないコノシロが食べれたり、貴重な体験に喜んでいました。漁師さんにいただいたシラウオをその場で天ぷらにしたり、新鮮なサルボウガイを網焼きにして食べたり、大根島で採れた牡蠣をお腹いっぱい食べたり、家でできないことを体験してきました。

近年は調理する人が変わり、参加する人も幅広くなり、異業種交流の場にもなっています。

人が集まる場なので、食の情報発信の場にもなりましたので、いろいろな方に中海・宍道湖の生物に興味を持っていただき、美しだけでなく食の宝庫の中海・宍道湖であることをたくさんの方に知ってもらいたいです。(正会員・吉田聖愛さま)



オゴノリング事業報告会

@セブンスイレブ本社

(一財)セブンスイレブ記念財団様より環境市民活動助成を受け1年間活動してきた「オゴノリング大作戦」事業。その報告会が5月10日に東京のセブンスイレブ本社で開催され、専務理事の小倉、プロジェクトリーダーの中濱から報告をさせていただきました。会場には全国から自立を目指すNPO法人が11団体が集まっていました。

廣野審査委員長(成蹊大学名誉教授)からは、総評として「何のためにこの組織を作ったのかをいつも意識しなければならぬ」という言葉をいただきました。

オゴノリング事業は経営・人材育成等、あらゆる視点で「自立」することが目的であり、それと同時にこの事業は団体としての大きな目的(ビジョン)達成に近づくためのものであり、大切なのは数字だけではない、ということを変更して思い出すことができました。

私にとっては初めての東京での報告会。終始緊張してしまいました。一緒に活動した皆さんの顔を思い浮かべると安心できるような、お世話になった分、余計に緊張してしまふような：笑。発表は小倉専務理事にもサポートしていただき、無事終えることができました。

そして先日、無事2年目の助成決定通知が届きました。いよいよ2年目の開始です。今年には新たにオゴノリング事業の中で「部活」を創設しました！これにより、2年目はより皆さんに循環を体験してもらえ、機会を作っていきたいと考えています。(入部希望の方はセンターホームページがお気軽に事務局にお問い合わせください！)よろしくお願ひします！(中濱)



▲財団の理事長・参加された団体の皆さんと。全国で活動するNPOの方々とつながりを持つこともできました。



@FR合同会議

2019年1月に開催されてから半年、朝から中間報告会が開催されました。って「何が？」言わずと知れた「ファンドレイジング」合同戦会議！「ファンドレイジング」って何？

会場にいる皆さんみんなには既存の事実、知らないのは「私」だけか！「ヤバイ、ウイキで検索」！単に「ファンド」の部分だけを「資金」「プロ投資家」として使われる事が、一般的かもしれませぬけど調べた限り「ファンドレイジング」とは、NPOが行う資金調達のことを指すそうです。

NPOの宿命「資金問題」の解決に取り組むこの会議、1回目は各団体のレベルの差を感じたけれど、今回の報告会で縮まった感じを受けたのは気のせいではないだろう。各団体の努力もだろうが、講師をして頂いた、堤大介さんの「本気」が各団体の担当者にやる気を起こさせたのではないだろうか。堤さんを選んだ関係者の方に拍手を送りたい。

当法人としても、このセミナーに理事長・専務理事・担当理事・事務局員4人で参加し討論が出来た事は、この先の10年を見据えて共通認識が深まったと感じられました。

おっとまだ中間発表でした、半年後、行動に移せるプランを作り上げなければいけませんね。教訓、自分が置かれている環境で話している内容や使っている用語が、誰もが知っているのと勘違いして話をしてしまう事が有りますよね。私もあります(資金計画担当理事・原田)

お知らせ

「ベーシック評価」を取得しました！

当法人では「組織のガバナンス強化」一環として、非営利組織評価センター様による「ベーシック評価」を受け、「すべての基準を満たしています」との評価結果をいただくことができました！

【第三者組織評価とは？】
営利組織評価センター(JCNE)がご提供する「組織評価」は、健全な組織運営に不可欠な、定款や諸規定に即した「自律性」や、他から支配介入されない「自立性」を適正に評価・公開することを通して、NPOと支援者との双方をサポートし、支援の拡大に寄与するものとして、国内初の全国規模で展開する制度です。

(WEBページより引用)
今後も、皆様に信頼していただける、より良い組織づくりのためにガバナンス強化にも努めてまいります！
詳細は「非営利組織評価センター」で検索！



「オゴノリング大作戦」大豆の種まきイベント

日時：2019年6月23日(日) 11~13時(予定)
※雨天の場合の予備日：6月29日(土) 11~13時
集合場所：10時50分にセブンスイレブ松江大根島店にお集まりください。
参加費：1,000円(畑部員無料)
★詳細はHPをご覧ください！

「オゴノリング大作戦」サツマイモ苗植えイベント

日時：2019年6月26日(水) 10~12時(予定)
集合場所：9時50分に八東支所駐車場にお集まりください。
参加費：1,000円(畑部員無料)
★詳細はHPをご覧ください！

第7期 第1回 中海自然再生協議会を開催いたします

下記の通り第7期第1回の中海自然再生協議会を開催いたします。委員以外の方もオブザーバー参加可能ですので、参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。
日時：2019年6月22日(土) 13:30~16:00
場所：鳥取県西部総合事務所/第15会議室(新館B棟2階)(鳥取県米子市麴町1丁目160) TEL 0859-34-6211(代表)

【内容】

- ・第7期中海自然再生協議会会長および会長代理について
- ・今後の協議会の運営について
- ・全体構想の見直しについて
- ・その他